

事業所名

じらふ長居

支援プログラム

作成日

2025 年

1 月

11 日

法人（事業所）理念		全ての人が人として尊敬される地域生活を実現します				
支援方針		子どもがその家族とともに、地域社会の一員として自尊心を持って自分らしく自立した生活を送ることができるようコミュニケーションの支援を行います。コミュニケーション支援では、子どもの特性（メリとハリ）に関わる大人が理解できるよう促します。また一緒に子どもにあった表出・理解スキルの支援を行います。教育へのピラミッドアプローチ®（以後、PAE®）のフレームを使い、認知・言語促進プログラム（以後、NC）や認知・言語・運動プログラム（以後、CLM）を提供します。				
営業時間		9 時	30 分から	18 時	30 分まで	送迎実施の有無 あり なし
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	個別療育はNC内の（1）視覚操作領域、（2）言語領域、（3）記銘領域、（4）文字領域、（5）記銘領域、（6）運動領域の6つの領域の中からアセスメント結果と子どもと親のニーズにあわせて、プログラムを提供しています。小集団療育では、認知・言語・運動の3つの領域に分かれたCLMを子どもの状況に合わせて提供しています。表出スキルにおいては、PECS®、コミック会話、筆談、身振り等。理解スキルの支援においては、視覚的指示、構造化等を行っています。				
	運動・感覚	個別療育はNC内の（1）視覚操作領域、（2）言語領域、（3）記銘領域、（4）文字領域、（5）記銘領域、（6）運動領域の6つの領域の中からアセスメント結果と子どもと親のニーズにあわせて、プログラムを提供しています。小集団療育では、認知・言語・運動の4つの領域に分かれたCLMを子どもの状況に合わせて提供しています。表出スキルにおいては、PECS®、コミック会話、筆談、身振り等。理解スキルの支援においては、視覚的指示、構造化等を行っています。				
	認知・行動	個別療育はNC内の（1）視覚操作領域、（2）言語領域、（3）記銘領域、（4）文字領域、（5）記銘領域、（6）運動領域の6つの領域の中からアセスメント結果と子どもと親のニーズにあわせて、プログラムを提供しています。小集団療育では、認知・言語・運動の5つの領域に分かれたCLMを子どもの状況に合わせて提供しています。表出スキルにおいては、PECS®、コミック会話、筆談、身振り等。理解スキルの支援においては、視覚的指示、構造化等を行っています。				
	言語 コミュニケーション	個別療育はNC内の（1）視覚操作領域、（2）言語領域、（3）記銘領域、（4）文字領域、（5）記銘領域、（6）運動領域の6つの領域の中からアセスメント結果と子どもと親のニーズにあわせて、プログラムを提供しています。小集団療育では、認知・言語・運動の6つの領域に分かれたCLMを子どもの状況に合わせて提供しています。表出スキルにおいては、PECS®、コミック会話、筆談、身振り等。理解スキルの支援においては、視覚的指示、構造化等を行っています。				
	人間関係 社会性	個別療育はNC内の（1）視覚操作領域、（2）言語領域、（3）記銘領域、（4）文字領域、（5）記銘領域、（6）運動領域の6つの領域の中からアセスメント結果と子どもと親のニーズにあわせて、プログラムを提供しています。小集団療育では、認知・言語・運動の7つの領域に分かれたCLMを子どもの状況に合わせて提供しています。表出スキルにおいては、PECS®、コミック会話、筆談、身振り等。理解スキルの支援においては、視覚的指示、構造化等を行っています。				
家族支援		利用時に療育相談の実施、月1回の研修やオンライン懇親会の実施。親が子どもの様子を記録してABC分析、冰山モデルの視点を養います。また公式LINEを用いて、取り組みのなかで困ったことやできたことを意見交換しています。			移行支援	園や学校には、面談や電話、オンライン、書面等による引継ぎを行っています。
地域支援・地域連携		当事業所で行っている支援内容を写真や動画を共有して（ご家族の同意のもと）、他事業所や園、学校と連携しています。外部の見学や勉強会の依頼も積極的に受け入れています。			職員の質の向上	定期的な研修やロールプレイ、事例検討会等の実施。学会参加や口頭発表を行ったりしています。
主な行事等		オンライン懇親会（月1回）、子育て広場（月1回）、お茶会（長期休暇中に実施）、保護者交流会（2か月に1回）、見学会（不定期）、事前説明会（毎年2月か3月）等				